THE WOMAN'S WEEKLY

大正五年八月廿五日發行

大正四年十一月四日第三種郵便物認可

第貳卷　第三十五號

毎週金曜日發行

婦人週報

定價一部四錢五厘

郵送料五厘

本號目次

□敎師を萬能視する弊……小橋三四子
□時事週評……
□偶感……安倍能成
□一人一評＝原敬氏夫人淺子……冬湖
□エレンケーの母性論……本間久雄
□ありのまゝ「△海外の友より△御詣の巡回」……
□墓畔の佳人……
□根本的美容術……廣田花崖
□頭腦をよくするマッサージの試み……藤井かう子
□素人に出來る染物の仕方……若原榮代子
□野趣あふるゝ初秋の投入花……安達潮花
□朝飯の菜とお壽司の拵へ方……櫻井ちか子
□金があったら……濱田斬雲
□オハナシ「猫と鼠」……たか子
□外人の見たる日本の女中……大磯一外人
□小說「孃ちゃん」……阪東みちゑ
□時事……編輯室より……

婦人週報社

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

リグレー式チウインガム

何れの御家庭に在ても、御子供衆はみな間食を好まれ、そして何れも、それを成たけ永く樂しまうと致します。然し、何ものもそう永くは續く筈が御座いませんから、勢ひドッサリ召上る事になり、そこで齒と胃を害します。

只だ**リグレー式チウインガム**のみは、一枚が無限に樂しめる上、永く嚙めば嚙む程、薄荷が齒の根に溜つた汚物の醱酵を止め、**ペプシネ**が胃を丈夫にし、且つ唾液の分泌を促がす結果、消化が良くなり、渇を覺えず、齒痛、口臭、胃弱等をスッカリ癒して了ひます。

それ故、**チウインガム**を召上り過ぎて、體をコハすと云ふ事は、全く不可能であります。又、御子供衆は餘り齒の掃除に御頓着なさいませんが、**チウインガム**は無限のお樂しみとなる上、齒を清潔丈夫に致します。

□一包金十錢、菓子、煙草、藥店等にあり。

□御買求めの節說明の**チラシ**御請求を乞ふ。

發賣元

東京市銀座通新橋際
電話新橋三二六七番

リグレー株式會社

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

教師を萬能視する弊

小學生等の不慮の死に就て

□悲痛の出來事

二十日の朝新聞を擴げて、誰れしもの胸をそゝつた悲痛の記事は、伊豆伊東にて不慮の死を遂げたる松岡訓導以下三人の小學生の葬儀の記事であります。十歳になる澁木眞夫が、恩師亡友に捧げた弔詞は、「十四日午後一時頃皆さんは海岸の淺瀬で面白く樂しく遊んで居られた時に大きな〳〵浪が來て、皆さんを浚つて海の底に沈めました。石橋さんだけは幸に助かりましたが、先生を初め、三人のお友達は遂々それきりになりました。もう歸つては來られないのです」といふ眞情流露のもので、幾度讀んでも人を泣かせます。

□職に殉じた訓導

松岡訓導は一種の職に殉じたと申しても差支へありますまい。父兄が都合で轉地の出來ない家の子を伴つて海岸に行かれた其の間には、單獨の遊山と事變り、常に幼童の訓育と保護とを忘るゝ暇もなかつたでありませう。然るに不慮の災害は、遂に其の保護者と共に、三人の命迄も奪つて終ひました。師の亡靈は今も尚三人の幼い教へ子達を、確乎と抱いて居る事でせう。一教師に學校以外にかやうな重い責任を負はしめて、遂に死に至らしめたのは、氣の毒の至りで、社會は其の遺族に對して、何等か報ゆる所がなくてはならぬと存じます。

□學校主催の兒童の旅行

この出來事は、はしなくも近頃流行の學校主催の兒童の旅行に就て考へさせます。父母兄姉が多忙の職に在るもので、幼童を伴つて轉地させる事が出來ぬといふ者や、一家擧つて避暑や旅行するのは費用が許さぬといふ者等は、便宜上學校や教師に托す事もよいかも知れませんが學習院の幼い公達迄、學校主催と稱して親の膝下を離れて、海岸に山間に兵營式の生活を敢へて致しますのは、兼ねていかにも奇觀であると感じて居りました。上流は下流と同じく家庭に於ては教育の行はれ難いといふ理由からでもありませうが、休暇中の教育迄も學校或は教師に托して、果してどれ程の効果がありませうか。

□兒童の常識

由來團體的に教師が引率して行けば、父母がわが愛兒に注ぐ丈けの注意が、一人一人の上に行屆かぬのは、云ふ迄もありません。子供自身の保護に任せる事は、一方獨立心の養成になるかも知れませぬが、幼い者の常識は甚だ疑はしいものであります。喉が渇けば、水の目に入り次第口に入るゝかも知れません。蠅の群りたかつた菓子をも、空腹に任せて貪り食ふかも知れません。又トラホームのある蚤の子達とも、平氣で手を接ぐかも知れ

―

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ません。これは杞憂に過ぎぬにしても、或る年齢に達する迄は生活上親の注意を離るゝ事は子供にとつて最も不幸であり、また止むを得ざる事情の外は離すべきものではあるまいと思はれます。しかも教師に一任すれば、如何なる處に行つて、如何なる生活をしやうとも、安心と思ふのは、教育者を過信する弊害であります。

□子供の教育は親が本位

日本の家庭では、心ある親達迄が、教師に信頼し過ぎる傾きがあります。教育者も萬能でない限り、親がすべき注意迄も引受けて、完全に成し遂げる事は、むづかしうございます。否教育は寧ろ親が本位で、教師は其補助者でなくてはなりませぬ。どんな良教師でも、親がわが子を思ひ、其の心身の状態を知る程には、及ばないものであります。多數の生徒を預る今の教師が、智力の養成のみならず訓育に、衛生に注意してくれる事は、寧ろ過分の働らきで、もし多くの家庭に於て、眞實に親たる義務が盡せるやうになつたならば、今日の學校教育の大部分は家庭に移して可なるべきものであらうと思はれます。

□大綱を握れ

世の育兒に熱心なる母親が、稍もすれば兒童の一擧手一投足に干渉し過ぎて、神經質の人間を作り出す嫌ひがあると申しますが、親は子供に對して第一の教育者であり、保護者であるといふ大綱は、常に掌中に握つて、要所要所の注意を怠らぬやうにありたいものであります。

（三四子）

時事週評

□論功行賞と竹越氏

日獨戰役並に日露協商に關し、軍人及び當局者以外、議員、文官、銀行家等に至る迄、有史以來未曾有の十二萬といふ夥しい行賞が行はれました。右につき勳三等に陞敍された竹越三叉氏は、何等功無くして此の光榮に接するは赤面の至りなりとし、廿一日拜辭の執奏を波多野宮相迄送達致しました。氏に濫賞に對して、世人の一顧を促した事は勿論であります。由來行賞は刑罰よりも難事だと云はれて居りますが、八面玲瓏主義の現政府の遣り口が遺憾なく現はれて、かたはら痛き心地が致します。

二

□東京市の水道問題

市參事會にては、今迄市内に限られた水道を、市外にも布設しやうとて研究中でありますが、奥田市長はメートル制度にして、市内水道の無駄遣ひを省き、之れか市外に廻はさうといふのださうです。市と郊外の接近が益々劇しくなつた今日は、郊外の衛生を計る上に、水道の延長を計る事は急務には違ひありませぬが、市内の冗用の水位で、市外の供給に應じ得るものか否かは問題であります。眞夏に水が缺乏して、雨水を用ひなければならないやうになつては、却つて不衛生に陷るのみです。市で少し大仕掛けに水源地を他に求めて、市外の供給に應ずるやうになれば、一番結構な事だと思はれます。

□赤十字社の暗闘

日本赤十字社に於ては非軍醫派と軍醫派との暗闘の結果、遣露救護班長上野博士の解職を見るに至りました。博愛の精神を以て建設された事業も、遂には徒らに獵官者等の野心を恣にする巷と化し去らうとするのは、嘆はしい極みであります。

□タ翁の講演

輕井澤の高原に於て、日本女子大學校の一部の人々等はタ翁を招いて其の講演を聽いて居るとの事です。神韻を帶びたる翁の講演は、定めし清涼の光景と相俟つて、云ふべからざる興趣があるであらうと思はれますが、幸に聽く人々が、其の說を鵜呑みにして、其の人全體を支配する唯一の本尊とならざらんことを。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

偶感

安信能成

□「都會人が田舍に蒔く風俗」についての御感想は至極同感でした。「單純生活」の著者のワグナーもちやうど同じ樣な嘆を洩して居ました。實際少し心ある人が田舍へ行つて抱く感じは大抵皆こゝにあるだらうと思ひます。元來都會人が田舍に夏冬の幾日かを過す意味は、都會と全然變つた生活に接して、その心氣を清新にし動もすれば人間を機械化する都會生活の缺陷を補ふにあるわけだらうと思ひます。それを更に進めて言はゞ、文明の人工的機構に捕へられた「人間」を自然の手によつて取返しに行かうとするのです。電氣團扇の與へる風や、氷水やサイダーやシトロンで與へられ得ない涼味を攝取する爲に行くのです。濾過池を通り鐵管を渡つた來た衛生的な生ぬるい水でなくて、泉から滾々と湧き出る冷冽な水に直に掬まんが爲であります。然るにそれが怠惰な贅澤な不健全な都會の生活を田舍へ擴げるといふ勢になつて居るのは、實際何といつてもいやなことです。山奥の茶店にでもこの頃はサイダーとかミルクキャラメルとかいふものは行渡つて居てしかも一方自然の淸泉に掬する自由は次第に奪はれつゝあるのです。

□北海道の天鹽あたりの處女林を旅行した私の友達が嘗て語りました。人間を絕つたこの自然の宮の奥處へ來て見ると、人間の斧で伐られた枝の一つすらも自然に對する非常な冒瀆の樣な氣がする。その木に對して恰も手足を斬られて血を流して居る人間の樣な痛しさを感ずる。私はこの話を實際しみ〴〵と聽きました。希臘の神話の中には、森の草木を謂れなく殘酷に伐つたり傷けたりした爲に、森姬の怒と恨とを受けて、神々の罰を被つた話が澤山ありますが、これは決して荒誕な無意味な話とのみ考へることは出來ないと思ひます。トルストイのたしか「三つの死」といふ小說だつたと思ひますが、木を伐倒した時の心持を書いて、木に心ある如く悲鳴を上げて倒れる有樣な、例の強い筆で恐ろしい程に書いてありました。

□話が少し横に外れましたけれども、今少し今の人間に自然に對する崇敬の心があつたらば、自然の偉大の前にひれふす心持があつたならば、我國の到る處に見る樣な自然の醜き破壞や損傷はあるまいと思はれます。今私の思付いた一例について言ひますと、山城滋賀の境の比叡山は、山は餘り高くはないけれども、都近い所では稀な勝地です。あの山の頂上の一方に山城を見、一方に琵琶湖を望み、老杉古檜がこんもりと茂つた中に、千年の古刹が霧に濕ひ風にさびて立つて居る樣は、實に開豁と幽邃とを兼合せた得難き好景だと思ひます。殊に東塔から横川へ行くまでの峯傳ひの景色は又格別ですこの頃延曆寺では東塔に病院を設けて、旅客の便利を計つて居ます。その爲だん〳〵婦人の泊客なども出來る樣になつたのはよいですけれども、そこへやつて來る大學生などが、やれ肴を食せとか何とかいつてやかましくいつて居たのを私の登つて居た時に耳にしました。私の考へ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

るのは、山水の景色に富んで、交通が便利で、都會的の設備があつて、美酒佳肴が注文に應じて來るといふ樣な所も、固よりあつてよい。然し叡山の樣な所ではやつぱり俗客の注文に迎合しないで、いつまでもその特色を保持し、來る人も精進料理に安んじて、十分に山氣を吸ひ込み、千年の古道坊の氣分を味ふといふ風にいつまでもあつてほしい。さういふ所がなくなつて到處に市井の卑俗が自然を冒瀆する跡を見るは堪へられぬとです。

□

文明が自然を征服して、よし電車で日本アルプスへ上ることが出來る樣になつても、荊棘を開いて、道なき所を分け上つて與へられるだけの賜物は決して自然によつて與へられはしないと思ひます。危險とか安全とかいふ問題を離れて考へれば唯一人にして深山の奧を訪ふ者と一人たりとも連があつて深山に入る者とは

四

非常な賜物の差違があると思ひます。タゴールは亡國の詩人であり、又時勢遲れであるかも知れません。然し我々新進の文明國民を以て居る日本人は彼の下の如き詞に耳傾ける必要はないでせうか。「商賈の廣告が、唯に虛僞と誇張とを以て全市を塗抹するのみならず、百姓が正直な勞働をなせる綠の野や朝の最初の淨き光に浴せられる小山の頂を侵せるを見る時諸君は決して恥を感じなかつたか。」

（一人一評）

原淺子

冬湖學人

▽不遇の境地にありと云ふは、或は原敬氏に不滿があらう。敵となり味方となつて、勝つも負けるも兵家――ならぬ政治家の常で、在野黨となりし逆境と云ふ譯に行かぬのである。が、大身代の第三代目の相續者となつた家光ならぬ原敬氏に取つて、十有餘年の間を握つてゐた政權から離れたことであるからして、寂寞、不安、遺憾の念は、かの失望に沈む黨員より原敬氏の上に注がれてゐるの事實である。此黨員を各自に自棄せしめないやうに、巧みに統率せねばならぬ原敬氏の苦心は、深く吾等の察する處で、その辛勞も想はれる。あの瀟洒な原敬氏が急に年老いて見えるのも、唯だ還暦を迎へたと云ふ丈けではないやうに考へられる。

▽この原敬氏を慰藉して、つゆ程も意氣を阻喪せしむることなく、その家庭をオーシスたらしむるものは、實に令夫人淺子のベストを盡しつゝあるが爲であると云ふも、決して過褒ではあるまい。考へれば――我が政治家の巨頭を以つて目される大隈侯には綾子夫人あり、加藤子には春路子夫人あり、尾崎氏には英子――テオドラ夫人あつて倶に巨人のライト、ハンドたり、且つ全力を盡して慰藉に勗めてゐる。吾等のやうにサイノロヂーを善意に解釋する者にあつては、加藤子も大隈侯もなかく〵に仕合者のやうに考へられる。

▽この政敵――當面の相手としては大隈侯と加藤子と尾崎氏と――に對峙して、不斷に奮鬪し、善戰せねばならぬ原敬氏には、その頑健の肉體があり、經驗あり、自信もあらう。が、絕えず政戰に從ふものに取つて、若し慰藉ないならば、而して文字通にベターハーフがないならば、如何にして精力は恢復され且つ『明日』の戰ひに勇躍して突進することが出來やう。羨むべく、欣すべし、我が原敬氏には淺子と云ふベターハーフがあり、慰藉者がある。原敬氏がホームに愛著するのも無理であるまい。

▽今迄に原敬氏が『……無事で歸るか分らぬ』と云遺して出掛けたことが三度あると云ふ。殊に群衆に其の邸を襲擊せられやうとした時の如きは、勿論原敬氏も「死」を決してゐた。が、淺子も亦決死の覺悟で、人の子たる四人の女中を隣家に立退かしめて、甲斐々々しくも唯一人して多數の人々達に從容と應接してゐた。この令夫人淺子に原敬氏の傾倒するも決して所以なきに非ざるを思ふ。（房州にて）

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

エレンケーの母性論

四たび女史を知るに就て

本間久雄

ロ「母たること」の倫理

この前までの兩三回に亙つて述べました所により、エレンケーの思想の大體は略言ひ終つたのでありますが、然し最後に今一つ是非述べなければならないものがあります。夫れはケーの思想中極めて重大なものであつて、ケーの母性論が、即ち夫れであります。

前回も述べました通り、ケーの思想の中心となつてゐるものは、人生が無限に進化し、進展すると云ふ進化の信念でありました。そして此の信念のために、男女相互が戀愛を中心として生活しなければならないと言ふ『性倫理』が成立したのであります。斯樣にケーは『性』と言ふことに極めて重大な意義を附してゐます。而して『性』と言ふことを考へる場合に、婦人にとつてその『性』の眞髓は何であるかと言ふに、夫れはとりもなほさず母性即ち『母たること』であります。從つてケーの『性倫理』と言ふことを婦人に應用すれば、夫れは直ちに『母たること』の倫理で、ケーの母性論の中心も其處に置かれてあるのであります。

ロ女史と婦人運動

斯くの如くケーは婦人の『母たること』の重要義を說き、婦人をして何よりも『母たること』の自覺を喚び起さしめやうと努めてゐます。即ち眞の意味で自己に目醒めること、即ち眞の意味で『母たること』を、目醒めること、其處にこそ最近に於ける婦人運動の尤も有用な意義があると說いてゐます。であるからケーの婦人運動といふのは、決して所謂婦人參政權運動など丶は全く別なもので有ります。但し斷つて置くことは、ケーは決して婦人參政權運動に反對してゐるのではなく寧ろ婦人が參政權を得ることは必要であり、意義のあることだとも說いてゐます然し之れはケーにとつて決して最後の目的ではなく、唯『母たること』を尤も完全に實現するといふことを最後の目的としてその目的に對する一種の方便たるに過ぎません。この點は近代の所謂婦人運動といふ大きな運動とケーとの關係を知る上に於て、充分注意しなければならない所であります。

ロ一種の家庭主義者

ケーの書いてゐるもの丶中に、假令婦人が參政權を得たり、社會的性慾を得たりして或は國家の樞要に際し、又は平和會議や倫理會議などに出て如何に滔々と饒つたり、辯じたりすることが出來てもその婦人の家庭に於て、その子供達が敵き合つたり、罵り合つたりしてゐるやうな亂脈な有樣であるなら、彼女が夫れ等の席上で饒つたり辯じたりすることに果して何の意義があるかと說いてゐる一節があるが、之れ等はケーの母性論といふもの丶如何なるものであるかを說明したものであります。即ちケーの『母たること』と云ふことは、『家庭』といふものに裏づけられてゐる。つまりケーは婦人が

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

外に出てその才能を發揮するよりも、(無論外に出て才能を發揮し得る人を批難してゐるのでは決してない。)寧ろ内にありて、即ち家庭の人として婦人本來の才能を發揮する方が一層人道的であると考へてゐるのであります。『母たること』を自覺すると言ふことは、ケーに從へば同時に家庭の人として目醒めると言ふことになります。この意味に於てケーは尤も宜い意味に於ける一種の家庭主義者であります。

但し斯う言ふと舊式の人がよくいふ良妻賢母主義と同じやうに見る人があるかも知れませんが、夫れは非常な間違ひで如何にケーの說が新らしく、且つ大膽なものであるかは、前から述べた全體の上からケーを見て下さる方には充分了解されることゝ思ひます。

□女子を深く知るに就て

なほ以上はほんの大略な輪廓に過ぎませんが、ケーの思想に何等かの興味を感じられる方は、私が昨年の冬出した『エレンケーの思想の眞髓』をお讀み下さることをお願ひします。又飜譯には『兒童の世紀』(原田實氏譯)『婦人と道德』『來るべき時代の爲めに』(以上拙譯)があり、又最近平塚明子氏の譯で『母性の復興』も出るさうでありますから、之れ等のものを御通讀下されば一層明瞭になることゝ思ひます。

ありのまゝ

皆樣の御生活のありのまゝを二十行内外に御知せ下さい

海外の友より

□此の間新渡米者に日本のお話を伺つて、故國の長足の進歩に驚いて居ります、私はいつも之れといふ落付いた時間がありませんので、此方の事など、何もお知らせ申上られませんのを殘念に思つて居ります。來る十九日は日本基督教女子青年會幹事河井道子女史が東部から當地に參られ、凡そ廿日間位御滯在の由で、私宅で歡迎會を開く豫定になつて居ります。それからホノルヽの新購讀者を一人御紹介申上げます、明朝の船に間に合ふやう大急ぎで認めました。(在桑港大澤ます子)

□婦人週報毎々面白く拜讀いたし居候。當地は田舍の事とて、語るべき同胞婦人はなく、雜誌が無二の友に候。米貨一弗六十仙一ヶ年分購讀料として御送り申上候間、御受取下され度、遙に御社の發展を祈り上候(在モントゴメリー池田あさ子)

□當地今年は殊の外の御暑さにて、家の中にて、裁縫致し居り候て、汗は瀧の如くに流れ出で候事とて、外に働らく勞力(下等支那人)などは、素肌にて勞働致し居候、毎週火曜の午前には、必ず貴紙到着致し候事とて、無上の樂しみとして拜讀致し居候(滿州小林ゆみか)

▲本誌を通して、海外にあるわが姉妹方と御交際の出來るのは、誠に嬉しい事でございます。寸暇の折々御地の御樣子をお洩らし下さいますことは、遠く故國を離れての御奮闘の有樣を一層よく御同感申すことが出來て、及ばず乍ら皆樣の御幸福を祈るよすがともならうと存じます。(記者)

御誌の巡回

拜啓爾來益々御健やかにて、我々婦人界の爲に賴もしき奮闘を御つゞけ下され候事、感謝の至りと存じ上候。昨年十月廿日某所にて貴誌御發刊の廣告を頂き、いと好ましき讀物なりと存じ、直ちに誌友たらん事を定めて、初號より拜見致し居候が、まだ一年に滿たぬ時日に、益々御發展の御樣子にて、常に新らしき理想の下に、穩健なる主義をお立てになりて、いかなる階級の人々にも友たり、指導者たらんと御つとめ下され候至誠は、誌上のいづこにも輝きて、まだ御誌に接し申さぬうちより豫期せし希望を滿足いたし居候。木曜夕か金曜朝御誌を手にし、其の夕には、はや他人の手に渡り居り、一ヶ月の後には田舍の果て迄廻り居る次第に御座候。(神田中井修子)

▲どうか皆樣の御期待と非常の御同情に沿ひ度いと、朝夕わが婦人界を念頭に置きつゝ、心をしめて執筆、編輯致し居候――記者

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

墓畔の佳人

強い愛の絆を絶たれた恒川靜子夫人の此の頃

□初秋の雜司ケ谷に

此の十日ばかり前からの事でございます。暮れるに早やい秋の太陽が、やうやく西に傾きかけて次第に光りが鈍くなりゆく頃になると、何處からとなく湧き出たやうな愼しやかな美しい束髪の佳人が或る時は若い令嬢と打ち連れ、或る時は侍女らしい女中を伴つて、雜司谷の奥の墓地の邊りに現はれます。そして涙に泣き濡れた、しかし水々しい光りを湛えた美しい雨の眼を伏せ勝ちにして、片手に閼伽の手桶を持ち添へもう一方の手には桔梗や女郎花や日々草などの、黄や赤や紫の花をとり交せて持ちながら、此處彼處と木立の間を縫つて墓と墓との間の狭い路を行き、「恒川家之墓」と記したとある生垣を圍らした石碑の前で蹲り、消え入るやうに瞑目合掌されます。そのしほ〳〵としたら若い姿に冷たく秋風が吹いて弱々しい日光が斜に照らすのを見る人は、思はず涙がもやほされますとか『どうした事か己い等知らねえが、彼様なに若けイ、乙姫様のやうな美しい女がお墓の前で泣き伏してござらつしやる。可愛さうにご亭主でも亡くならつしやつたんかな。己ィ等のやうな生き殘りはまだお招きがないのにのう。』と、夫れを見た附近の一老婆がしみ〳〵と申したと言ひます。あゝ、その涙の底を流れてゐる深い悲しみ！それは人力も及ばざる人生の悲歎を物語る涙の哀史であらねばなりません。

愁に傷める靜子夫人

□一代の美妓と謳はれし人

佳人の名は恒川靜子と言つて今年僅かに二十三歳、曾つては一代の美妓と謳はれ、浮世の豪奢を恣にして嬌名を花柳の巷にはせたことのある古の萬龍その人でございます。明治四十三年の箱根の洪水が不思議な縁を結ぶ糸となつたとかで暫くはとり〳〵の噂の種を蒔いて居ましたけれど、遂ひに養家の赤坂の春本に一萬圓の出世證文を殘して故恒川博士の令息陽一郎氏と樂しい家庭を作り、灯ともし頃の華やかな色街から、美しいその姿を消して數年前に新夫人となつた人でありま

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

す。未だ教育をうけつゝある若い男子が一婦人の愛に溺れて云々と、さながら判で押したやうな文句を言つて嚴しく詰問した人達も可成りに多くあつたやうですが、人の心の眞實には、如何なる塲合に當つてもその難關を切り拔ける偉大な力が潜んでゐるものでございます。數々の苦しい或は樂しい思ひ出はその間に限りなくあるでせうが、燃ゆるやうな心を抱き合つてゐた二人はとう／＼最後の勝利者となつたのであります。要するに二人は所謂一時の浮いた心の結ばれでなく、眞面目な心の共鳴だつたからでせう。口さがない靜子夫人の古い朋輩達は、その當時妬ましげに卑しく眼を光らせて、『フン、どうせ長くて三四年のものよ、窮屈な素人の生活がさう長く續けられてたまるものかよ。』などゝ嘲り合つて、實は望んで得られぬ哀れな自分達の心を寂しく慰めてゐるのでした。其樣な心の奥の秘密などを知らぬ夫人は、時にその言葉を傳へ聞いて幾度悔しさに袂を絞られたことでせう。そして、『私は私の信ずる所を行ふまでだ。』と愈々強く、堅く、殊勝にも決心の臍をかためられるのでありました。

□夫君の强い愛

斯うして慌しい結婚が濟み、此の新らしい家庭になじまれる樣になると、何もかも、朝夕の習慣に至るまで、悉く異なるのが、今更ら物珍らかに瞳に寫るのでした。けれど之れ等は豫てから覺悟を極めてゐられた事とて、賢しい靜子夫人は、あらゆる過去の古い習慣を脫ぎ捨てゝ、さながら幼兒のやうな幼々しい心に立ち歸へり、すべて夫れ等の新らしいものを吾が身に取り入れられました。であるから流石に昔堅氣な博士の家庭に入つても、世間でよく聞く家風に合はぬなどゝ言ふ誹りを受けることなく、この美しい夫人が、義弟妹や姑から親しみを受けられたのは夫れから間もない事でありました。その上、自分の故で資產に過ぎた出費を要したことを絕えず心の奥に疊んで自ら進んで質素な生活を始められたので昔の榮華をその儘に移し來て嬉笑みして待つてゐたお出入りの商人達は、少なからず失望したと申します。そして花柳の巷にあつた人にも似ず女中達に對しても却々巧みでありますとか、夫君陽一郎氏の愛は如何なる時にも、唯つよくなり行くのみだつたさうであります。此の平和な家庭にも過ぐる九日の日に惡魔が密び入つて陽一郎氏が逝かれましたので、さらぬだに秋はうら寂しいものを、燃えるやうな良人の愛を一身に集められてゐたゞけ、夫れだけに、一しほうら悲しさに涙になきぬれて毎日墓參なさるのであります。まだ悲しみの新たな夫人は、或はまだ良人の死と言ふものを眞實に信じられてゐないのかも知れません。けれど此の人を世は殘酷にも若く美しき未亡人として眺めて居ます。故人の葬儀の日、靜子夫人は髮を切らなかつたわねと、或る一人が言ふと、切らない所に更らに大きな悲哀の影が密んでゐるぢやないのと、他の一人が答へるのを聞きました。吾れと吾が身を今の塲合自由になし得ぬ事情にあるらしい、烏羽玉の黑髮美しい靜子夫人の胸中の苦しみは、唯その人のみの心の奥に堅く秘められてゐるのでせう。哀れ悲しく傷ましき人よ！（民子）

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

根本的美容術

顔の美醜の生ずる所以

廣田花崖

□眉間の八字皺

余の兩眉の間には八字皺があつて、之は六ケしい問題を考へるとか怒つたとか、身心に苦痛があるとかする場合には、眉を顰めると共に、此皺が深く顯著になる。さうして此習慣が何時の間にか固定して普通の感情に支配されて居る場合でも、他の眼につく程度に其痕跡を印して居る。余は此八字皺に就て、從來何等の考へをも起したことが無かつたが、近頃ふとしたことから此皺を痊して見やうと云ふ氣になつたのである。併し余は勿論火熨斗をかけて皺伸しをしやうなどゝ外科的荒療治を企てたのではない。其方法として余は今後決して眉を顰めるやうな感情を起すまいと決心した。此八字皺が眉を顰める習慣の結果であつたとすれば、眉を顰めぬ習慣は必ずや之を癒すであらうと信じたからである。いつも平和温順の心を持つことゝ、之が今寸刻も忘れずに實行しやうとして居る余の信條である。さうしてそれは漸次ある程度の好結果を示しつゝあるやうに見える。換言すれば鏡を見る度に八字皺が稀薄になりつゝあるやうの心地がする。全くそれは笑ひ事では無い。而して余をして此擧を敢てせしめた動機と云ふのは斯うである。

□鬼も十七娘のいかつい顔

二ヶ月程以前、余はある家を訪うて、繼母の虐待を受けてる其家の娘に逢つた。彼女は今年「鬼も」と云はるゝ十七の少女であつた。其容貌が何うであらうと何處かにこやかなアトラクチーヴな處が其顔に出て來ねばならぬ年頃である。然るに拘らず彼女の顔はムッとして居た。何かあつたのだなと余は思つた。併し人に聞いて見ると、あれが彼女の平常の顔であつたさうだ。余の心は痛んだ。二六時中怒つて居る彼女の心が遂に十人並又はそれ以上とも評し得べき彼女の顔に影響を與へて、他に不快を感じさせるやうにした彼女の境遇を悼まずには居られなかつた。さうして自己の八字皺の不景氣な形を顧みた時に、余は愕然とした。此皺が幾多の人々に不快の感じを與へるであらうと思つた余は、突然此皺が荷になり出した。前に述べたやうな珍妙な企圖は即ち其結果だつたのである。

□眞の美容は心から出る

斯う云ふ例は余が今數へ得るだけでも少なからずある。美人に指折らるべき資格を有しながら反つてそれが寂しかつたり、ムッとして居たり、尖つて居たりして他に惡感を與へる顔の所有者の、内面生活は多くは常道を逸して居る之に反して顔容は取立てゝ云ふ程でないのに、妙に人の心を引き付けるのがある。彼女の心は多く常に平和に支配されて居る。内面生活が表情となつて顔面に現はるゝ時に、それは著しく顔の美醜を左右する。要するに美の程度を高めんが爲には先づ其心からして美しくせねばならぬ。平和温順にして濁なき心、其處から眞に人をチャームする優美なる容姿は生れるのである。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

頭腦をよくする

マッサージの試み

女醫　藤井かう子

口脳底の神經の刺戟

お尋ねですから最近の實驗の儘をお話致しますが、醫者の方から申せば、一つの試みに就て百例の何分といふ奏効がなければ、公然と發表する事は出來ないと申します。

兼ねて脳底の神經、即ち後頭部の生え際から頭窩にかけて刺戟すると、頭が清くする事は承知致して居りました。宅の子供等は試驗前になると「母樣揉んで下さい」と云つて俯頭くので、暫らくマッサージをしてやると「頭腦が明瞭して來た」と云つて喜びます。

口算術の出來ないお子

知人の十一歲になるお孃さんが、算術がさつぱり出來なくて困るが、どうか仕樣のないものかとの御相談を受けました。私は早速そのお子さんを仔細に觀ますと、注意力が非常に散漫して居ります。それといふのも、神經が緊張して居らぬからだと思ひました。そこで母君の依賴の默し難くて、醫術以外のこの治療をお引受けして、どうかこのお子さんの將來の爲めに、少しでもよい方に向はせて上げたいと、深い祈禱と共に、施術に取かゝりました。

口一ケ月間のマッサージ

それから毎日脳底の神經を刺戟する爲めにマッサージを致しましたが、其の間は心地がよいと見えて、極くおとなしくして居ります。其の後は靜かな部屋で一切人を入れずに算術のお稽古を致させました。初めは簡單な數を加減する事も出來ませんでしたが、次第〳〵に注意力が強くなると同時に、頭腦が働らいて來て、一ケ月の後には十萬の位の加減と、三位もしくは四位の乘算が出來るやうになり、朝の時間は自分から机に向ふといふ勉強心が出來て來ました。もうこれ程になれば毎日マッサージをするにも當らぬと思ひましたからこの後は月に一回宛暫らく續ける事にして御免を蒙りました

口衞生思想の養成

かやうのお子さんを見ると、一年生の頃から、保護者が心して、注意力を養ふやうにしたら、よかつたらうにと惜しまれます。お子さん方の健康や頭腦の發育は、大部分母親の掌中にあると申してもよい位で、それにつけても今後の母親たるべき方は、充分衞生の思想を養つて置かれ度いと存じます。この節午前中は大學病院の小兒科を見せていたゞいて居りますが、小兒の病氣の八分通り迄は、食べ過ぎの消化不良病です。まだ消化器の整はぬお子さんに果物や饅なんぞを與へたり、三時間目の授乳を待ち切れずに、二時間半で泣いたからとて乳を與へたりして、遂に腸胃に故障を生ずるのです。衞生思想の缺乏といふ事が、どれ程小兒を害つて居るか分らぬと思ふと共に、一般の御婦人方に切に御注意を乞ひ度いとぞんじて居ります。

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

素人の出來る

染物の仕方（一）

若原榮代子

倦み疲れた此の頃の日盛りも、一寸仕事を換へれば、又新らしい趣味が湧いて、思はぬ快味を取ることが出來ます。私は若原女史が古くなつた裏地だの、汗に汚れた襦袢の衿や袖等の廢物を、纔かの費用と、手數とで、立派に利用して居られるのを見て是非皆樣と共に其の經驗を洩して頂き度いと、同女史から伺つて見ました。（記者）

□古衿の模樣を生かすには

古い縮緬や絹或はメリンスの衿は、前部色拔きをして、新に模樣を付ける事も出來ますが、前の模樣を利用して、絞り染にしたり、地色を濃くして汚れをかくす事も出來ます。然し最も簡單な方法は元の模樣に新聞紙を（型通りで無くてもよろし）當て丶置いて、別に染料を溶かした液に醋酸を混せて、霧吹きで吹くのです。そして新聞紙を取つて陰干にし、乾いた所で布に包んで蒸籠樣のものに入れて十分間計り蒸して、後に普通の湯伸をすればい丶のです。尙ほ丁寧にすれば、衿の模樣通りの型紙を造つて、（これは衿の下に紙を置いて、上から模樣通りに針でつ丶いて行けば、紙に寸分違は無い模樣が付きます。）それに堅い鬢付油を塗つて衿の模樣の上に貼り付け、前と同樣に染料を吹けば一層模樣が明瞭致します。鬢付は決して汚みにもならずに奇麗に取れて了ひますから安心して用ひる事が出來ます。無地でしたらば、刺繡の型紙又は草花等の水氣を取つて、これを面白く配置して、やはり堅油で貼り付けて霧を吹けば、一寸思ひ付きのものになります。

□色拔きのしかた

もし色拔きをしなければならないものゝ時には、布百匁に對して、石鹼九匁を水三升位に溶し、其の中に布を入れて暫らく煮るのです。一度で充分拔け無かつた時には尙ほ一二回繰り返します。そして前記の通りに模樣を染めて行くのです。この色拔きは絹、毛織には凡て應用して差支へありません。以上の染料は酸性か鹽基性か宜しいのですが、造花の染料をお持ちの方はそれで染めても同じく色が褪げる樣の事はありません。

□蒲團の裏地の色上げ

蒲團及び着物の裏地（木綿もの）の色の褪せたのを染めるには、水三四升に就き洗濯曹達二匁を溶かし、次に直接染料三匁乃至四匁を別に溶して置いて混せ、これに食鹽十匁を加へてよく交せ合せながら水で浸して置いた布を入れて火に掛け卅分程沸騰させたら、布を取り出し、一旦冷してから水ですつかり濯いで陰干にするのです。以上の分量で凡そ一反の布を染める事が出來るのです。染め物をする前には必らず一度洗濯して、汚れを落すことを忘れてはなりません。

子供の智慧

□丸ごと死ぬなら

三郎さん（五つ）は小母さん達が新聞を見て變死者の多い話をして居ろ「僕は死ぬのはいやだ」と尤もな事を申します。これにつけ足して「丸ごと死ぬならいゝけれど」と申しました。丸ごとは血を見ない死と云事でせうが、面白い形容詞を持つて來たものです。

――（投書を歡迎致します）――

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

野趣あふるゝ

初秋の投入花（三）

安達潮花

花卉と眼との距離から來た東西趣味

日本人は櫻が霞に匂ふと云ひ、躑躅が紅焔もゆるやうだといひ、梅の老幹嵯峨たる、嫋々たる柳の垂枝を賞し、一葉一花の美よりも大體の姿の美しさを觀賞する傾向がございます。これに反して西洋人は一輪のダリアの美を唱へ、一枝のバラの花の香を賞します。百合にせよ、撫子花にせよ、手にとつて近く眺め、近く芳香に醉はなければ止みません。これに依て觀賞せらるべき花卉と人の眼との距離の遠近を考へる事が出來ます。日本獨特だといはれる雅致氣韻の多い生花は、遠い見方から發達し、色彩と配合とに勝る洋式盛花は、近い見方から進化して來たのだといはれませう。

生花が暗示的で、盛花が直覺的とも見る事が出來ますが、近時降盛を極はめつゝある盛花や投入は、在來の日本趣味へ新たに配合や色彩の特徴を加味したもので、つまり日本人の花卉に對する趣味がだん〳〵變化して、花と眼との距離が近くなつたのだと申されませう。

秋草の色彩は淡く夏草の色彩は強い

夏の花には強烈な色彩のものが多く、秋の花には淡く柔かな、そして寂しい色彩が多いやうに思はれます。趣味から申ますと、日本趣味の特徴期で、手にとつて眺め、近づいて香を悦ぶものでなく、稍遠く觀賞するものが多いやうです。生花が秋草に失敗し、充分に生けこなせないのは、つまりこの點が根本的の誤りで、投入や盛花が秋草に成効するわけなのでございます。投入は生花よりも花の種類を多く用ゐられて、色彩と配合の美點とを發揮せられまして、日本趣味へ洋趣味の特徴が加へられ、初めて完全な花卉裝飾が出來るわけでございます。

野草の採集法と水上に必要な注意

野草は出來得れば、夕方に剪る事が第

十二

家庭お化粧 (1)

▼▼▼神聖な家庭の象徴▲▲▲

▼▼▼現代要求の化粧法▲▲▲

＝美しく見せるのか＝

－美しくなるのか－

お化粧と申しますと、紅白粉をベタベタと塗つて、白壁に眼鼻といつたやうにすることゝ思つたり、或は顏や襟の部分的粉飾、即ち襟脚を三ッ襟にとるとか、鼻の上へ白粉を固めて濃く塗るとか、恰で顏へ繪でも描くやうな事をしたり、又は俳優が舞臺の上に現はれたときの遠見の綺麗なのを、眞に美しい化粧と思つて、近よつて見れば處斑に塗つて顏の調子を取つてあることを知らないやうな人も隨分と多いのであります。

併し化粧は決してそんな淺薄な、輕佻なものではありません、婦人の嗜み、紳士の威嚴といふ上から申して、それ〴〵に男子も婦人も心掛けねばならぬ、日常

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

一で、ついで朝がよろしう御ざいます。止むを得ず日中に採集するときは、風呂敷、新聞等に包んで、日光と風とに當てないやうにもつて來る事です。採集した草花は根を揃えて、五分ばかり金槌もしくは石でたゝいてくぢくのです。そして食鹽をもみこみ、十分間ほど放置して逆水をかけ、濡れ布、濡蓆を以て、やはらかに先きまで巻いてしまうのです。以上の花包を桶又はバケツに二寸ばかり水を注いで挿しておけば、二三時間で野にある時よりも勢よく水を上げます。

水上法最上の要件は光線に當てない事と風にふれしめない事です。すべての植物は根から水分を吸收して光線と風に逢ふて、其の葉面から盛んに發散するものです。そして其作用は晝間に發散し、夜間には少しも發散いたしませんから、根から水分を吸收するだけでございます。多くの細根から水を吸收して居たのが、莖から剪られた爲めに其作用の機關が少なくなつて蒸發する葉の面積はもとの通りですから、水を下ろし、早く萎れるやうになるものでございます。ですから不用の葉はつとめて早く剪り取り、蒸發をふせぎ、晝間でも暗い濕氣の多い室に入れて、光線や風にふれぬやう夜の狀態にする事が必要でございます。(をはり)

朝飯の菜と お壽司の拵へ方

櫻井ちか子

⁂朝飯の卓に

□茄子の丸煮　中位の茄子の皮のないのを選び花落ちと蔕とを除り去り、二三十分間水に浸して置きます。次に水を切つて鍋に入れ、茄子が半分位浸る程に醬油を入れて煮ると、茄子の水分が出て汁が多くなります。その汁でよく煮詰めると、丁度よい加減に軟かくなつて、味もよい鹽梅になります。

⁂壽司のいろ〳〵

□鰯の壽司　極く新鮮な鰯を三枚に下し、(小さければ腹を割つて骨を抜き)暫時鹽をして置いて、酢をそれに掛け置きます。別に酢の御飯を拵らへ、普通の握り壽司の樣に握つて、鰯を其の上に載せ、壽司箱の上に並べられるだけ並べます。其の上に板を置いて又壽司を並べ、其の上に今度は蓋をして輕い押を置き、一二時間してから食べるのです。

□稲荷壽司　普通の油揚ならば三つに切り、稲荷壽司用の油揚ならば二つに切り、袋の樣に擴げて一旦茹で、水を捨てます、其れから湯七分醬油三分位の汁を油揚を蔽ふ位に入れ、砂糖を少し加へて煮るのです汁が大體煮詰つた頃火から下し、冷めてから別に拵へておいた御飯を詰め、干瓢、蓮、麻の實など入れて交ぜて置くのです。油揚は汁を絞らずに、汁を含んだ儘で御飯を詰めた方が味がよいのです。

の作法でありますから、その人の品性、趣味嗜好が、自然からその化粧の上に現はれて出るものであります、柔弱た男浮華な女、これ等の化粧は一見してその柔弱な浮華な男女であることが知られるといふものであります。

されば神聖なる家庭、眞面目なる紳士淑女、その貞靜なる品性、堅實なる志操は、自然から其の化粧の上に現はれ、一見して其の家庭のゆかしい樣子が偲ばれるといふものであります、實に上品で淑かなクラブ式化粧は、神聖な家庭を表明する唯一の象徴でありまして、現代の眞面目なる人々が、浮華な化粧風俗を嫌惡し、遠近の差によつて變相的に脂粉を施すが如き多くの化粧法を排斥して、單に化粧をしたときのみを美しく見せるといふ虚飾な化粧を捨てゝ、生地の色までも白くなり、艶やかに生々として皮膚の營養を完全にするクラブ式の化粧を取つて美しくなるのを化粧の目標とせらるゝやうになりました。美しく見せるといふことゝ、美しくなるといふことゝの差は、何處から起るであらうかに就て、次々にお話したいと思ひます。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

金が有つたら
私でも達者になれる

薄田斬雲

口金に飽かして養生すれば

人間は、外から強迫されず、又退屈もしなければ、大概の病弱者も健康體になれそうなものです。外からの強迫と云ふ中には第一に物不自由と云ふ事を含んで居ます、つまり、金にあかして養生すれば、私の様な弱虫でも人並みの健康體になれそうなものだと云ふ事を考へ、其の方法を述べて見たいのです。

口退屈は一番毒

取返しの付かぬ不治の病があるのでは駄目ですが、器官が破損したでらなく、唯だ全體に弱い身體なら金次第で達者になれる事と思ふのです。世間には金に不自由しないのに、引込味勝ちな生活をして、退屈そうに漸次衰弱して行く若い男女が多いのです。私はそんな人の心理作用が不思議でなりません。

そこで私は今、金に不自由のない身の上とすると、先づ目前きの變化が頻繁な東京に住みます。山の手の、稍や場末めいた樹木の多い處へ家を持つのです。海岸や温泉場は衛生に適すと言ひますが、直き飽いて退屈します。病弱者に退屈は一番毒です。だから退屈しない様に東京に居るのです。裏庭には五間四方位の水槽を設けます、可なり深くして、此の中で氣の向いた時、冷水浴をやるのです。夫れから庭の一隅に矢場を設けて、毎食前に弓を曳くのです。飲食物は営節の所謂滋養物をあさる事はしません。大して不消化なものは食ひませんが、世間並みの物は何んでも食ひます。唯だ一つ贅澤に食ふのは葡萄です。葡萄の汁は胃腸に取つて消化がよく、人體に取つても至上の滋養物だらうと思ひます。口淋しくて煙草を慾しい時も菓子を食ひたい時も、葡萄を口へ入れて居ると、夫れで間に合ひます。

口氣兼ねは不消化の基

夫れから、食事時間は一定すべきもの、様に言ひますが、之は貧乏者の云ふ事で、金持は時間に制限されて食事すべきものでありません。空腹を標準に食事するのが本當です。尚ほ飲食は會心の友が大勢會して共にすると、一層うまいものですから、常に愉快な會食者を缺かない様にします。他人の御馳走になるのでは、氣が置けて不消化を伴ふから、勝手に自分の物を食べ、食い盡そうが、食ひ殘そうが、そんな事は一向氣に留めません。又、食事は體裁の好い料理店を食ひ廻るのも、興味に伴ふ消化作用が旺盛になつて好いものです。羅馬時代の繪を見ると、食卓の傍

十四

に臥床を並べ、横に寝ながら飲食して居ます。あれが私には理想的宴楽です。

口安眠と勝負道楽

寝室は道路の物音も聞えず、臺所のがたつきも耳に達せぬ、静かな場所に設け、眠りが足つて自然に覺める迄安眠したいのです。安眠は人體第一の養生です。

職業としては閑散な名譽的の業務を有つ事にして、常に名譽心功名心を刺戟すると堕落する憂が無くて好いのです

口腹が空くのを忘れる様に

金に飽かす養生の秘訣は、退屈せずに空腹を感ずる様にする事です。小人閑居して不善を為すとか言ひますが退屈すると、遂ひ食ふ事を考へ、空腹を感せぬに、何か食ふから、身體を惡くするのです。腹が空くのも忘れる様な生活をして居れば、無病息災で居られます。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

オハナシ

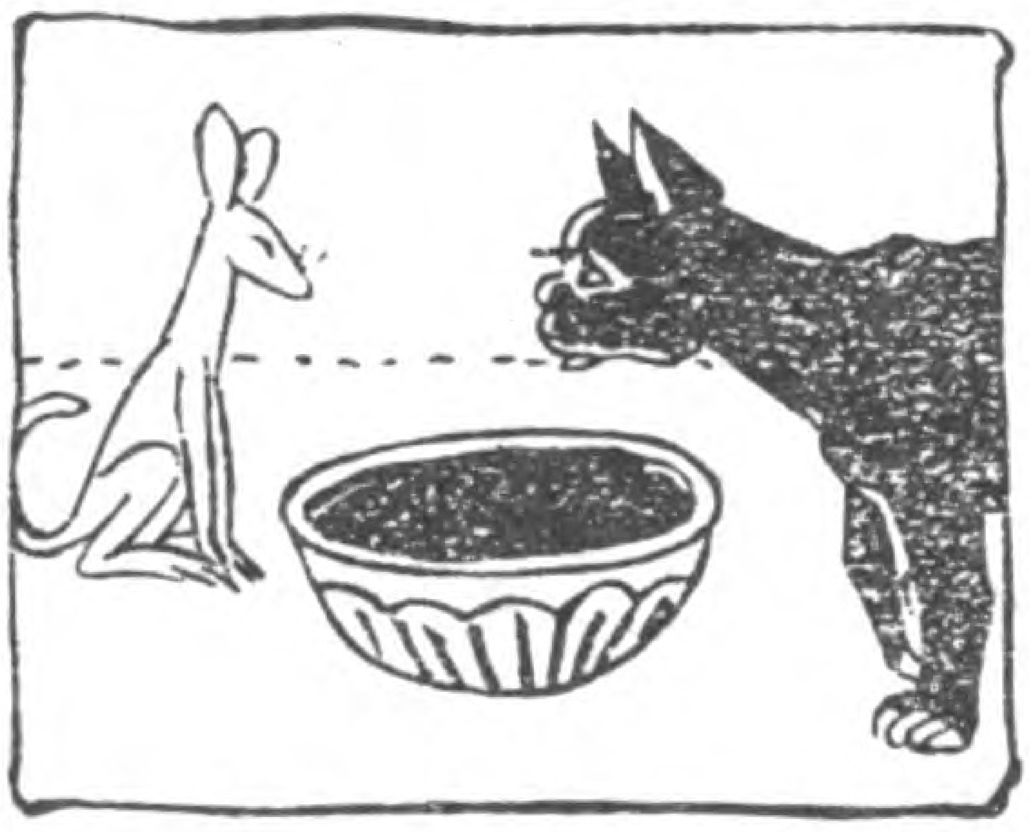
猫と鼠（下）

たか子

又ぢきに、猫の口は油がなめたく〲て、よだれがたれ相になりました。或日猫は鼠に、「從姉が又子供をうみました、その子は眞黒で、只一本の前足だけが、白なのです。もう度度ではないでせうから、も一ぺんだけやらして下さい」とたのみました。「上の方がなくなつただの、半分なくなつただのと、云ふ樣な奇妙な名では、どうも考へずにはいられませんね」と鼠は首をひねりました。けれども猫は、そんな事は、どうでもいゝと、かまはず出かけました。

猫の留守の間に小さな善い鼠は、家中をきれいに御掃除し、規ちんといろいろの道具をかたづけました。こうして鼠がはたらいてゐるのに一方いぢきたなの猫は、教會の祭壇の下で、まるで瓶をからつぽにしてしまひました、そしてみんななくなつてはじめて、安心ができるなど〻、いひながら夕方になつてかへつてまゐりました。鼠は、すぐこんどの子供の名をきゝますと、猫はすました顔で、「今度の子の名は前のよりもあなたにいやでせうよ、なぜならみんななくなつたといふのです」と答へました。「えつ！みんななくなつただつて！まあそれは一體、どう云ふ譯ですか」と鼠は、あきれて叫びました。猫は知らん顔して、首をふり〱のどをごろ〱いはせながら、寢臺にとび上り、ぐうぐうねてしまひました。

その後、猫はもう決して名命親にたのまれなくなりましたが、冬の日が來てもうどこをさがしても、食物がみつからないやうになりました。鼠は、愈々しかたがなくなると、あの教會の祭壇の下にとつておいた、油の瓶を思ひ出しました。「猫さんとつておいた油が役にたつときになりました、あそこへ行きませう、そうすれば、私たちは、おいしい御馳走がたべられますよ」と鼠は猫とつれだつて行きました。と見ると、瓶はもとの場所にありましたが、中はほんとの空つぽでありました。



鼠は始めて合點がいつたといふ樣子をして猫に向ひ「あゝ私は今わかりました。あなたは、やつぱり惡い友達でした。あなたが名命親にたのまれた時、始めは上の方がなくなり、その次に半分なくなり、それから……………」と云ひかけた時、猫はおそろしい牙を出して、突然「おだまりなさい」とどなりました。そしてかはいさうな鼠は、みんななくなつたといふのと一しよに、猫の鋭い牙にかゝつてゐました。

世の中にはこの猫の樣な惡い人がたくさんゐます。皆さん御氣をつけなさい。（たはり）

* * *

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

外人の見たる

日本の女中

各國の女中氣質

大磯　一外人

□昔はこうではなかつた

先日數人の來客と夕食を共にした後、食卓を圍んで種種なる話が初まりました、其の話の中で私の最も面白く感じたのは、各自に使用した女中の優劣論でありました。客人の中には隨分世界各國で生活した經驗を有する人もあるので、甲論乙駁、傍聽人なる私共には大變面白く思はれました。

或る人は、瑞典人の清潔を好むは、女中として最上であると云ふと、他の一人は、英國人の紀律の嚴重なる、命令を重んずる點等を楯に英人が最上であると叫ぶ等、何時果てるか知れない有樣でした其の內ある一人が現在使用して居る日本人の女中共の不精で、ずうずうしい事を吹聽しますと、吾も吾もと云ひ出して、とうとう誰一人日本人の女中を譽める者はありませんでした。或る老いたる一人は、昔は斯うでも無かつたが、年と共に惡くなる、と申して居りました。私も是には同感なのであります。

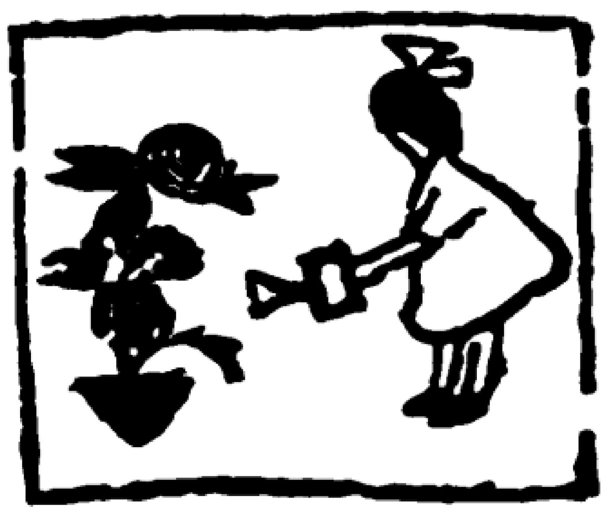
□自由濫用の外人の女中

大昔から家族主義で通て來て居る日本の家庭では、下女部屋と主人側の部屋とは障子、襖、或はさうでなくとも、廊下傳ひか何かで、女中の一擧一動が明らかに知れるやうになつて居ります、從て女中は常に使用者の眼界を出でない樣な具合で、女中自身常に注意を怠らないから、いつも命令が行はれるやうに見え、家內何となく平和なのは、吾々も羨ましく思つて居るのであります。然し是が外國人の家庭になると大分趣が變て來ます。召使と主人との部屋が大抵全く別となつて居るし、又さうで無いにしても、主人側でも用事以外女中の擧動(餘り目に立たない限りは)に注意する樣な事は無く、用事以外は自分の部屋で自由を與へて居ります。此自由が惡るく用ひられて、今日の有樣になつたのであると思はれます。

□彼れ等の缺點

私は日本人の女中の間に二つの大なる缺點を常に見出します。其の一つは現在の事のみ見て、未來を忘れる事と、も一つは宗教心の缺けて居る……或は甚だ少いと云た方が良いかも知れません。外人に使はれて居る女中達が、自分の自由なる時間を只身體を安樂にして居たいと思ふ眼先の事に迷はされて、將來の事を忘れて、一日一日と過ごす內、それが何時とはなしに習慣と成て終には用に立たぬ人となるのです尙彼等にもし宗教心があつて、神は常には自分と共に在すと云ふ意識があれば、自然に自身を謹しむやうになるに違ないと思つて、種々と注意も與へて居りますが、好果を見る事は中々困難です。然し此の宗教を與へると云ふ事は使ふ人にも使はるゝ人にも大切な事と思ふて、小さな努力を續けて居ます。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA



孃ちゃん（六）

阪東みちゑ

寄宿舍の周圍は高い黑板塀で堅固な圍ひがしてあるが、塀の外は直に往來になつて往來のつきあたりはいろ〳〵の店屋が軒を並べてつゝいて居る。その中に燒芋屋がありました。此の芋屋は私が寄宿舍へはひつた翌日から目について居たのです。そして時々夕暮にこゝへ來てはふかしたお芋からぽか〳〵と湯氣の立ちのぼるのを眺めて居ました。けふは殊更此店がなつかしかつたので、私は硝子窓へ來て往來を見て直に芋屋の店をのぞきました。芋屋のおかみさんはまだわかい三十位です、色の白い丸い顔をした女です。私が上から見て居ると此女がお鍋の蓋を取つて、よく燒けた燒けたての芋を太い木の箸でつまみ出しては大きな笊の中へ投り込で居る、誰れも買に來ないのは殘念だと思ふけれども、私は黑板塀の中に居るのだからどうする事も出來はしない。焦慮たくて仕方がないのだけれどもうしやうもない。自由に往來を歩いて居る女も男も芋屋の軒をのぞかうともしないのが、私は不思議でならなくなりました。

私は見て居る中にどうかしてあの暖かさうなお芋を自分のものにしたいと思ひつきました。そしてどうして此の思ひつきを成就しやうかと硝子窓にもたれたまゝ考へた。外出して一寸買つて來れば譯はないのだが、もう四時を過ぎて居るから外出は許されさうにない。明日まで待つ事は到底堪へられない、どうしやうと少し焦慮たくなつて見て居ると、風呂敷をもつた小僧が燒芋を買ひに來た。愛嬌のよいおかみさんが、さつき笊にうつしたのを半分ほど風呂敷に包んでやつたのを見たら私は俄に小僧が羨しくなりました。今の場合小僧になる事の出來ない私はどうしたものかと思案にくれて居るとふとよい事を思ひついた。それは二三日前に下川さんから聞いたお芋釣りの話であつた。十年程以前本校創立の當時に行はれたといふ話でした。そして十年以前でも何でもかまはない、便利な方法だから私は之を實行しやうと考へつきました

部屋へ歸つて行李を縛る麻繩を二筋と書物を包む風呂敷を一つもつて來ましたそして二筋の麻繩を結びつないで、その先に風呂敷をくゝりつけて窓から下へそつと落して見ました。大丈夫！繩は下へ落ちてまだ大分あまつて居る。然しあまつては居るが黑板塀と街道とをへだて、居る燒芋店まではなか〳〵容易に屆きさうにない、第一はすつかけに投げ飛ばさなければ、窓よりは大分街道の方へ片よつて居る黑板塀を乘りこす事は出來ない首尾よく塀を越えても、街道をへだて、居る芋店に通じるのは更に困難である。何でもあのおかみさんがこつちをふりむいた途端に目配せをするに限る！どうかこつちを見てくれるとよいがと思つて見て居ると、新らしい薩摩芋をお鍋の中へ並べてしまつたおかみさんが、びしやり

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

と鍋の蓋をした拍子にこちらをふりむいた。私はいきなり手を三つたゝいて「こゝだ〳〵」と云つて見た。

おかみさんは驚いた顔を仰むけて私を見ました。「一寸待つて頂戴」と云つておいて大急ぎで麻繩をたぐりあげた。

そして懷中して居た一錢銅貨を十ばかり風呂敷の中へくるんで、勢よくほふり投げました。風呂敷は首尾よく塀を越えて往來へ落ちました。お神さんは暫らく不思議さうな顔をして居たが、俄に氣がついたらしく駈け出して來て風呂敷を取りはづして、燒芋をどつさり包んで來て、また繩のさきにくゝりつけてくれました。

私は嬉しいから夢中で繩を引きあげました。往來を通りかゝつた二三人の男と女が立ちどまつて、吃驚した顔を仰向けて居ました。

私は直に障ると熱いほどの風呂敷包を大事に抱へて部屋へ歸らうとすると、「一寸お待ちなさい」と云ふ聲がした。ふりかへると舍監の中山先生が眞直に衝立つて居られる。

これは困つた事だと思つたけれど仕方がないから、「何か御用ですか」と訊いて見た、先生は笑ひもしないで、「あなたは今何をして居ました？」と尋問のやうな聲を出されました。

「今一寸お芋を買つて居ました」

「こゝから？」「はあ」

「こゝから？どうして買つたのですか」

「繩の先きにぶらさげてもらひました」

「まああなたはそんな事をして耻かしいとは思はないのですか」

「耻かしい事は御座いません」

「あなたはほんとにあきれた人です。私はさつきからあなたのして居る事をちつと見て居たのですよ」

先刻から見て居たのなら、何もそんなにどうして買つたなどゝ人に訊かなくても分りさうなものだのにと思つて先生のお顔を見て居ると

「なにをそんなにぼんやりして居るのです。あなたは今大變にわるい事をしたのです、もつと判然しなくてはいけません！」

と云つて怒られました。

「私はほしかつたから、私のお金を出して燒芋を買ひました」

「あなたはなぜさう神經が鈍なのです！

十八

此の寄宿舍の生徒としてさういふ事をしてはならないといふ事がわからないのですか」「わかりません」

「あなたはどうした人でせう、私と一所に舍監室へいらつしやい、云つてきかせる事があるから」

「私は先生の詞にしたがつてお芋を抱へたまゝ後について行きました。舍監室へ這入ると、先生はぴしやりと障子を閉めて「そこにお坐りなさい」と命ぜられました。私は坐りました。

「そのお包みを下にお置きなさい」

私は抱へて居たお芋を下におきました先生は「本校生徒心得」と表紙に四角な字の書いてある薄つぺらな印刷物を出して、「第一條から讀んで御覽なさい」と云つて渡されました、私は命ぜられる通りに讀んで見ました。

「第一條、本校生徒タルモノハ、溫良ナル淑女タラン事ヲ心懸クベシ」

「第二條…………」

「お待ちなさい！あなたは淑女と云ふ意味がわかつて居ますか？」「わかつて居ます」「說明して御覽なさい！」「正しい婦人といふ事です」

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

時事

口立太子式の御準備　今秋御擧行の立太子式は、即位禮に亞ぐ大典なるを以て、宮内省にては早くより之が御準備に着手し、既に大體の制式決定を見ました。尚ほ式後親任官に賜る銀盃の如きも、意匠を東京美術學校に囑託せられたる由です。

口盛厚王の御乳人　伊香保御用邸に御避暑中の東久邇宮盛厚王殿下の御乳人は近來乳量が減じましたので、同町温泉宿木村利平妻千代子(二八)が御乳人として奉仕する事となりました。

◉安達公使隨行　閑院宮殿下露國御訪問につき、十九日特命全權公使安達峰一郎氏隨行仰せ付けられました。

◉英帝戰線に立つ　英國皇帝は佛國戰線を訪ひ、一週間を英軍と共に費やし、奮鬪的生活を送らせ給ひ、更に一層危險なる區域内に進ませられんとし、將校等の御注意に由り漸く止まらせましたが、爲めに出征兵士は熱誠を以つて之を迎へ異常の光景を呈したとの事です。

◉英首相の對獨聲明　英國首相アスキス氏は下院に於て、獨逸がフライアット船長處刑に對し、賠償をなす迄は戰後と雖も獨逸との外交的關係の恢復を許さゞる決心なりと述べました。

◉英佛商業協約成立　英國商務院總裁ランシマン氏の伊太利訪問の結果、英伊商業協約調印せられ、伊太利國民は皆熱誠を以て氏を迎へて居ります。

◉閣議を活動寫眞に撮影　英國内閣は内閣會議の光景を歷史的記念として活動寫眞に撮影するを許可する事に決しました。

◉米國海軍の擴張確定　米國下院は上院の三年繼續海軍擴張案に贊成し、直に四隻の弩級戰艦並に四隻の戰鬪巡洋艦を建造する事、海軍々人七萬四千に增加し、又三年間に七億九千萬圓海軍軍事費を計上せるが、これは曩に下院に於て決定せられたものよりは三千萬圓の增加だとの事です。

●支那軍事顧問決定　陸軍中將青木宣純氏は愈々支那政府の軍事顧問に聘さるゝ事に決定しました。

◉陸軍大更迭　今回の定期更迭は將佐官を通じて數百名に上り、近來稀に見る大異動です。中將少將各十三名の昇進あり井口中將は軍事參議官に、秋山中將は朝鮮駐剳軍司令官に、松川中將は神尾大將の依願待命により、其の後任として衛戍總督を襲ひました。

◉簡易保險實施　來る十月一日から實施さるべき、官營簡易生命保險に關する諸規則は、十八日官報で發布されました。これは全國何れの郵便局にても取り扱ふもので、金額は二百五十圓以下に限られて居りますが、別段身體の診察なども要せぬらしく、頗る簡易のものです。

◉行賞發表　日獨戰役並に日露協約の功勞者なる議員、文官、銀行家に對する行賞は十九日に發表されましたが、尚ほ同協約に關係したる外務本省高等官、露國駐剳大使館員、内務、警察、各部長樞密顧問官、各省秘書官、赤十字社職員、地方長官、郡長、其の他功勞ありし關係者に對しそれ〳〵叙勳賜金の旨二十一日發表されました。

◉竹越氏の陞叙拜辭　前代議士竹越與三郎氏は、今回の日獨戰爭に關する功により、勳三等に陞叙せられましたが、「政治に從ふものは、陸海軍人と事情を異にし全局の成敗に鑑みて刑賞を受けざるべからず。然るに方今百僚臣民動もすれば功勳を衒ひ、衣冠を貪り、同利同與相結託するの弊なきにあらざるは太だ憾とする所なり。」との旨を上奏して其の光榮を拜辭されました。

◉東京市の水道問題　市の水道使用法改正案は、目下市參事會に於て研究中ですが、奧田市長は市を全部メートルとして出來るだけの節水をさせ、餘水を郡部に配水する案を取るらしいとの事です。

◉赤十字病院の暗鬪　日本赤十字病院外科主管遣露救護班長たりし上野信四郎博士が、病院内に於ける軍醫派非軍醫派の爭ひから、辭職を勸告されたるは一箇月以前からの事でありましたが、愈々今回上野博士の解職を見るに至りました。尚ほ軍醫派の人々は、博士以外の非軍醫派及び醫員及び看護婦等も解職すべく手順を整へて居るとの事です。

◉國寶修理費交附　文部省にては古社寺保存會の決議に基き、左記國寶に對し一萬六千八百五十圓五十錢八厘を修理費として交附いたしました。△奈良縣　唐招提寺夾紵漆、千手觀音立像一軀（一萬八百十五圓九十錢）△高知縣　武林寺木像、文殊菩薩及侍社像外十五軀（三千二百四十三圓三錢）△同縣　安樂寺木像阿彌陀如來坐像一軀（百七十二圓三十錢）△三重縣　南就神社太刀一口（三十九圓三十錢）△同縣　長盛寺薙刀一口（七十六圓十錢）△山口縣　野田神社太刀一口（三十三圓四十錢）△和歌山縣　若宮八幡神社

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

太刀一口（八十四圓二十錢）△同縣　金剛峰寺薙刀一口（五十三圓三十三錢）△同縣　熊野速玉神社太刀一口（五十圓）△福岡縣　光雲神社太刀一口（四十三圓四十錢）△大分縣　柞原八幡神社太刀二口（三十九圓四十五錢）。

◉日本最負のリ氏逝く　明治卅九年英國コンノート殿下がガーター勲章を先帝に捧呈の爲め來航せられし時、その隨員として同行されし男爵リーズデール卿は此の程逝去されました。氏は倫敦日本協會の副會長で大の日本最負でありました爲め、日英間の好感の親厚を計られました。享年七十八。

◉夕翁輕井澤に入る　夕翁は目下精神修養の爲めに開かれて居る日本女子大學の輕井澤山泉寮に入り、十七日午後五時第一回の講演を催し、生徒一同と晩餐を共にしました。生徒は翁に絽の五つ紋の羽織を贈りました。其の紋は世界宗教の各派のシンボルを集めたものださうです。

◉英國黑表の手　英國政府は國内に於て敵國會社並に商人の爲めに表面上の名義人となり或はこれを幇助したるものは、黑表なるものを作成して其の氏名を公表して英國との取引を絶對に禁止して居ますが、更に進んで締盟國たる我國にもその方法を講じ大使館を中心として各領事をして獨逸側の利益を計らんとして居る日本人は無きかと調査の歩を進めて居ますか、既に神戸、横濱、大阪等には數十名を見出したとの事です。故に東京市の各區にては豫め關係者に注意を與へて居ります。

新刊紹介

□合縁奇縁（冬湖宿利重一氏著）　明治史を飾る著名の學者、政治家が功名に行く道の裏面に潜む趣味深き、物語を描けるもので、興味津々たる中にも、「人生感意氣、功名誰復論」といふ昔の青年の心事が活躍して、讀む者をして、一種振肅の氣を覺えしむるものです惰弱に流れた當時の青年子弟に是非一本を勸めたいものであります。（定價五十錢東京神田駿河臺國民書院）

□不要意が招く愛兒の死（醫學士河合三郎氏著）　兒童は自らの症狀を訴ふる事を知らぬが故に、往々保護者の不注意によりて、輕々しく看過して居る事が、難病の先驅をなし、遂に眞玉にも代へ難き愛兒の命を失ふことがあります。この書は育兒法の外に、育兒失敗の實例を集め、類別して面白く記し、卷末に附してあり、母親達の一讀を促して居ります。（定價壹圓廿錢發行所東京麴町平河町洛陽堂）

公娼廢止運動費

本社宛寄附の分（一口金五錢）

大寶文（四口）　杉田鶴（八口）

小計十二口　累計六百十九口

編輯室より

▲記者の清子さんが郷里から送られたといふ甲斐の葡萄が、一日此處に運ばれて、同人一同は打寄つて味ひました。紫のみづ〳〵しい房は目にも心地よく、甘露のやうなその味に、爽かな初秋の氣の凝つて滴るを眷むる心地が致されました。▲編者の机上は恰も絶え間なく波の打ち寄せ來るやうに、山と積まれた編輯雜務がきれいに片付いたかと思ふ間もなく、また次の編輯が巡つて參ります。讀者諸氏からのお手紙は、時に差迫つた用事でないものは御返事を認めませんが、何れも一字一句疎にせず、喜んで拜見いたして居りますから、左樣思召下さいませ。

人事相談所

□本所は婦人週報社の附屬事業として、世の煩悶に惱める男女に同情し、精神上、生活上、其他有らゆる相談に應じ、最も善き解決を與へます。

□本所は絶對秘密の下に、結婚調査、人物調査、財産調査、男女學生品行調査、裁判上の證據調査等の御依頼に應じ、親切と誠實を以て其の任に當ります。但しこれには依頼者が至當と想はれる程の低廉なる調査料を申受けます。

□本所に御相談なされたい方は、書面にて申越されるか、若しくは直接面會に來て下さい。面會時間は日曜を除くの外午後零時より、午後四時迄です。

東京牛込區市ヶ谷田町二丁目十七番地
婦人週報社内（電話番町四五六六番）
人事相談所

婦人週報（毎週金曜發行）

定價表

△壹部金五錢（但し郵送料五厘を含む）
△一ヶ月（四部又は五部）金貳拾錢
△三ヶ月（十三部）金六拾錢
△半年（廿六部）金壹圓拾錢
△一年金貳圓廿錢

廣告料

△特等（表紙の二、四）金參拾圓
△壹等（表紙の三、白紙前付）金廿五圓
△貳等（色紙の表側）金廿貳圓
△參等（色紙の内側）金貳拾圓

注意

▲御註文は一切前金の事▲郵券代用は必ず一割増の事▲送金の爲替名宛は東京市牛込區市ヶ谷田町二丁目十七番地婦人週報社▲振替口座は東京三一六六〇番▲雜誌發送を以て領收書に代ふ

發行編輯印刷人　東京市京橋區銀座四丁目一番地　小橋三四子
印刷所　東京支店　福音印刷合資會社
發行所　東京市牛込區市ヶ谷田町二丁目十七番地　婦人週報社
振替口座東京三一六六〇番　電話番町四五六六番

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

診察毎朝及毎夕但祭日及日曜之他
院長診察 月、金、木午前及（木）午後六時
林、峰間両副長は目下當院に在勤
東京三番町三十番地（市ヶ谷見附内）
電話番町 六二番

東洋内科醫院

院長 醫學博士 高田畊安

電話ちがさき二番
神奈川縣茅ヶ崎海濱（従停車場半里）
河野、高橋両副長は目下當院に在勤
院長診察 土曜日 午後入院診後應需
診察毎朝但祭日及日曜及土曜之他

南湖院

クリーニング

は一滴の水を用ゐずして如何なる汚れも殆んど新調同様になります

和洋服 外套インバ（東コート）ネル・セル・ショール半襟毛皮等のクリーニング

ご染色を丁寧親切迅速に致します

○局部シミヌキ

○御一報次第參上

各國大公使館 帝國ホテル 御用

日比谷クリーニング商會

日比谷公園停留場際 電話新橋三一〇八

◎産婦人科◎小兒科

宅診午前 往診午後

病室、産室ノ設アリ入院ノ需メニ應ズ

院長 女醫 吉岡彌生

東京市麹町區飯田町四丁目卅一番地

東京至誠病院

電話番町二三五七

歯科

ドクトル 富田貞一

日本橋區高砂町六（久松町停留場より西一丁）

電話浪花五四〇五

かつけ特効薬

手足のシビレむくみを去り

心臓を強め衝心を防ぐ

新薬 ブラニン

一瓶【八日分】金六十銭 送料不要

發賣元 東京市小石川高田老松町 目白薬局 振替東京三一六九二

産科、婦人科、小兒科

東京府内藤新宿番衆町卅一番地

女醫 井出茂代

電話番町三六七七番

内科小兒科 第一家庭病院

院長 醫學士 加用信憲

（入院隨時）

牛込區矢來町二十四番地（電話番町二八〇二）

料理講習會

會席料理 毎週土曜日午前中 會費一回三十五銭 束修五十銭

西洋料理 毎週月、金午前中 會費一回五十銭 束修五十銭

（主として主婦の爲め）外に主婦以外の婦人の爲

毎週水曜午前中開催 會費一回五十銭束修五十銭

本郷區湯牛町三番地

櫻井女塾

電話下谷六八一五番

技藝夏期講習會

八月中旬下一流の専門大家を講師として左記九科目の短期夏期講習會を開催す。個人教授の方法なれば入會何時にても差支へなし。

●袋物●刺繍●行器摘器●摘細工●壜細工●縫細工●儀式用折紙●水引の結方

會費は各科共普通科壹圓、高等科壹圓五拾銭

東京麹町九段靖國神社右横

大妻技藝傳習所

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

發行所 東京市牛込區市ケ谷田町二丁目十七番地 婦人週報社

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA